

新時代の英語教育推進事業

～英語を用いたコミュニケーション能力の育成に向けて～

事業の概要

新時代の英語教育推進事業

「英語教育実践リーダー」による英語教育の推進

～英語を用いたコミュニケーション能力の育成～

義務教育課

目指す子ども像

英語で自分の考えや気持ちを精一杯伝え合う子ども

小学校:自分のことや身近なことについて、英語を使って伝え合う児童
 中学校:日常的・社会的な話題について、聞いたことや読んだことを基に自分の感じたことやその理由などを伝え合う生徒

目指す授業の姿

聞く・読む・話す・書くことの4技能が十分に高まり、
 もっと英語を使いたいと思える授業の実現

小学校:十分なインプットを基に、英語でのやり取りを大切に授業
 中学校:既習表現を活用して、生徒自身が使用するべき表現を思考・判断する授業

対応 英語を用いたコミュニケーション能力の育成に向けた、教師の指導力向上

- 1 求められている英語教育を実践していく実践リーダーの育成
- 2 具体的な取組みを基にした実践や英語指導に関する情報の県全体への発信と共有

「英語教育実践リーダー」の育成

- 1 年間を通じた実践研究により、各年度 20 名（小 10、中 10）の教員の指導力を向上させ、各地区でモデルとなる実践を示す。

事業概要

- (1) 計画・検証・改善を充実させる研究協議会（年3回）
- (2) 外部講師を招聘した授業改善の充実（年2回）
- (3) 英検 IBA と県作成評価問題を基にした指導改善
※当該中学校で実施
- (4) 非常勤講師の活用による授業補助や教材開発支援
※当該小学校に配置
- (5) 当該市町村教育委員会への訪問サポート（年3回）

○英語教育実践リーダー（▽）

- ・人間力があり、周囲の信頼が厚い者
- ・授業改善の意欲に満ち、リーダーとして活躍が期待される者
- ・校内外で継続的に英語教育推進に努める者



県内への指導実践の発信・共有（クラウドサービスの活用）

- 2 地区毎のチームで指導実践（ノウハウ等）を各地区や県内に随時発信して、情報共有することにより、県内英語教員全体の指導力を向上させる。

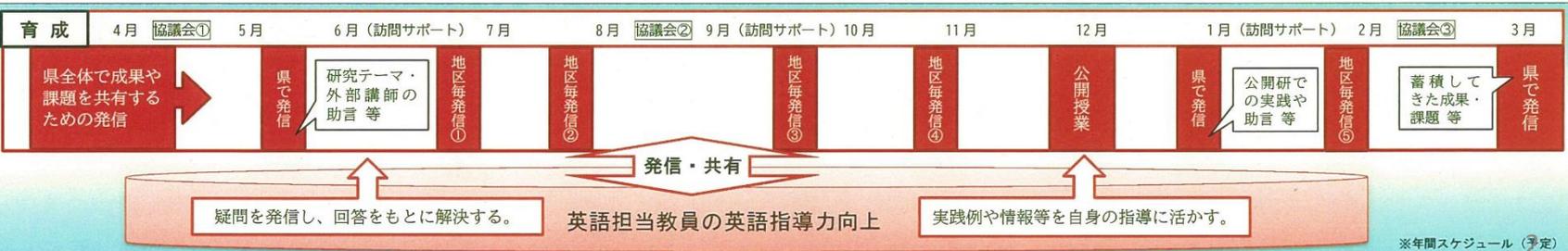
事業概要

- (1) 公開授業研究会での実践普及（11月～12月）
チームメンバーが事前検証から事後検証まで関わりながら、各地区の代表が授業を公開
- (2) チームから ICT 機器で実践事例発信（年5回）
地区毎にチームを組み、持ち回りで実践経過を発信
- (3) 県で情報発信（年3回）
講師助言や公開研情報、実践事例等を発信

○クラウドサービス【G Suite】

- ・動画等のデジタル教材や参考資料を英語担当教員同士がオンライン上で共有して有効活用
- ・実践リーダー同士のコミュニケーションを活性化し、より高いレベルの授業を実施
- ・チーム内での打ち合わせや校種別の情報交換等をオンライン上で実施

容量無制限



事業の概要

小中各10名の英語教育実践リーダーが、

「指導力向上」と

「指導実践の発信」

を図ります。

英語教育実践リーダーに指導・助言いただく 外部講師の先生方

- 金森 強 先生(文教大学)
- 太田 洋 先生(東京家政大学)
- 酒井 英樹 先生(信州大学)
- 町田 智久 先生(国際教養大学)
- 阿野 幸一 先生(文教大学)
- 佐藤 博晴 先生(山形大学)
- 高橋 一幸 先生(神奈川大学)
- 阿部フォード 恵子 先生(CALAインターナショナル)

実践研究の重点

『令和3年度
学校教育指導の
重点』を踏まえて

言語活動を通じた指導の充実〔共通〕

＜英語教育実践リーダーの計画例＞

- 児童生徒の発話量を増やす。特に、即興性のある言語活動、領域を統合した言語活動を設定する。
- 児童生徒が、「伝えたい」「聞きたい」と思えるような、適切な目的・場面・状況を設定する。

十分なインプットを基にした授業〔小〕

＜英語教育実践リーダーの計画例＞

- 単なる定型のやり取りを示すだけでなく、ターゲットセンテンス等を含む自然なやり取りを示し、使用場面を推測させるようにする。

各領域で思考力・判断力・表現力等を育む授業〔中〕

＜英語教育実践リーダーの計画例＞

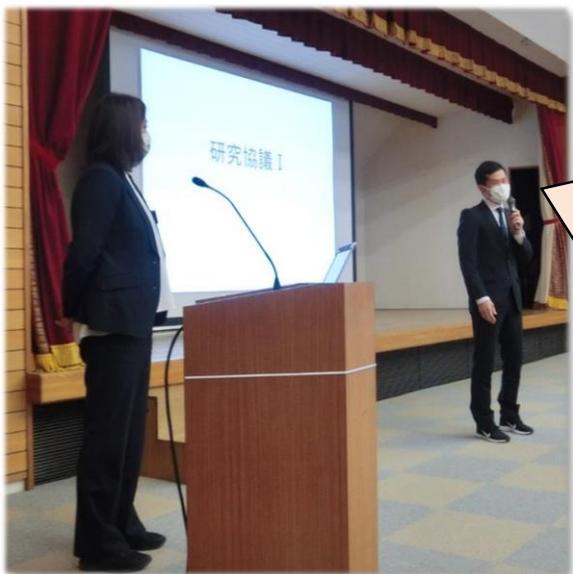
- 教科書等の話題について、生徒が自分の考えや気持ちなどを自分で考えて表現する活動を設定する。

第1回研究協議会で 授業づくりの視点を確認

自己紹介を通して
共通点を見つける

<確認したこと>

- 児童生徒が「自分の考えや気持ち」を伝え合うこと = 言語活動の充実
- 少しの工夫で、「聞く必要感」が生まれること = よい聞き手の育成



自己紹介をもとにT1とT2でやり取り

... Oh, you like SLAM DUNK.
I like it too. My favorite player is
○○. Who is your favorite player? ...
... We like SLAM DUNK. How about
you?
Do you have same hobbies?

ペアで活動

第1回研究協議会で授業づくりの視点を確認

If you have one million yen, what do you want to do?

<確認したこと>

- 活動でつまずいた時が指導のチャンス = 言語活動を通した指導
- 表現の領域では、「言語使用の正確さ」と「表現内容の適切さ」から指導をおこなう

A : What do you want to do?

B : I want to Italy.

A : Oh, you want to go to Italy. Why?

B : Pizza and soccer games. ...

やり取りの中で
さりげなく修正
しています。

活動 ①

指導

活動 ②

(例)「言いたかったけれどうまく言えなかったこと」

「前に比べて言えるようになった表現」

「他にどのような内容を言えばよいか」などを共有

年間を通して、英語教育実践リーダーによる実践等を発信し、県内の先生方と共有していきます。

授業改善に向けて、県HPや発信資料をぜひご覧ください。

各地区の英語教育実践リーダーが公開授業研究会を行います。事前に案内しますので、一緒にスキルアップしていきましょう！

<英語教育推進のページはこちら(県HP)>

<https://www.pref.yamagata.jp/700012/bunkyo/kyoiku/iinkai/kyouikuiinkai/eigokyouiku/english.html>



県教育庁義務教育課